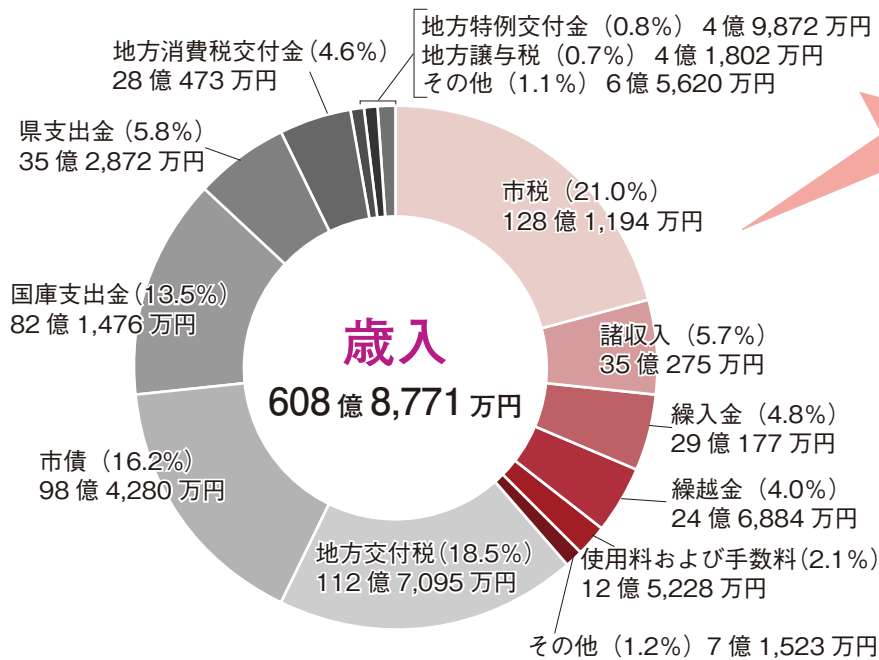


令和6年度 決算見込み

金額は1万円未満を四捨五入しています。()内は構成比。各グラフ・表中の数字は
端数処理しているため、合計と合わない場合があります。 問い合わせ＝財政課財政担当 (☎ 32 - 4168)

一般会計

市の中心部分を担う事業を行うための会計です。歳入から歳出を引いた差額の
41億1,519万円は、令和7年度への繰越金や基金(市の貯金)への積み立てと
なります。



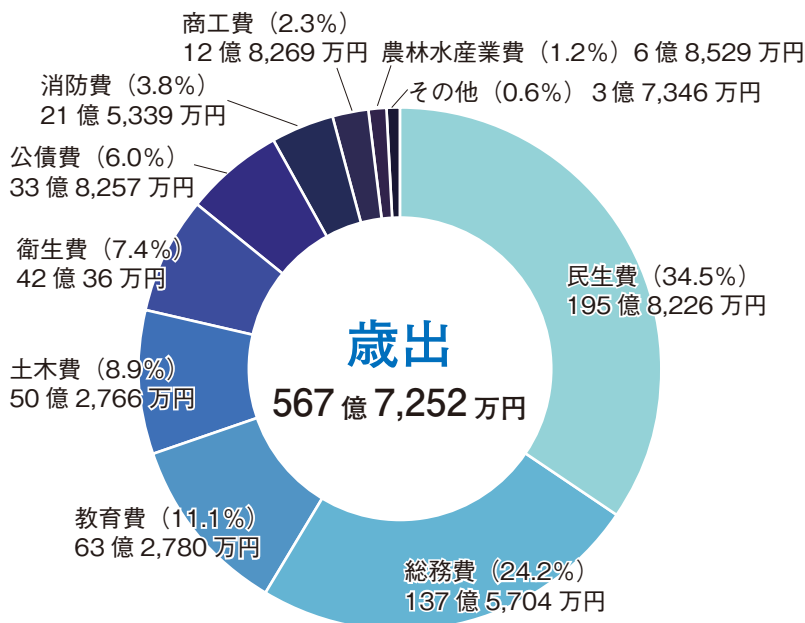
歳入の内訳

自主財源 (38.8%)
236億5,281万円

依存財源 (61.2%)
372億3,490万円

歳入は、市独自の「自主財源」と、
国や県から交付される「依存財源」
に分けられます。現在は、半分以上を
依存財源に頼らざるを得ない
状況です。

市税の内訳	市民税	55億9,237万円
	固定資産税	54億9,609万円
	軽自動車税	3億9,046万円
	市たばこ税	5億9,151万円
	都市計画税	7億4,056万円
	入湯税	95万円



用語解説

地方交付税

地方財政調整のため、国から交付されたお金

国庫・県支出金

国・県からの負担金、補助金など

繰入金

基金や特別会計から繰り入れたお金

諸収入

他市からの受託事業収入など

市債

国や銀行などから借り入れたお金

民生費

社会福祉の充実、子育て支援など

教育費

学校教育、生涯学習、文化振興など

総務費

戸籍の管理、税金の徴収など

衛生費

清掃、疾病予防、健康増進など

土木費

道路や河川の整備、維持管理など

公債費

市債の返済(元金や利息)など

消防費

消防、災害対策など

商工費

商工業、観光振興など

農林水産業費

農林業の振興、農林道の整備など

市民1人・1世帯当たりの金額	市民1人当たり	1世帯当たり
納めたお金(市税、使用料、手数料)	13万9,924円	28万5,725円
使ったお金	56万4,828円	115万3,374円

※令和7年3月31日の人口(100,513人)と世帯数(49,223世帯)で算出

特別会計

特定の目的の事業を行うための会計で、一般会計と区別しています。

会計名	歳入		歳出
		うち一般会計繰入額	
学校給食共同調理場事業	7 億 1,406 万円	4 億 3,260 万円	7 億 1,406 万円
国民健康保険事業	110 億 6,978 万円	9 億 2,738 万円	110 億 2,094 万円
介護保険事業	143 億 6,129 万円	21 億 1,614 万円	140 億 8,975 万円
新里温水プール事業	5,588 万円	—	5,347 万円
発電事業	1 億 9,115 万円	—	1 億 8,274 万円
後期高齢者医療事業	20 億 2,961 万円	5 億 7,174 万円	20 億 2,792 万円
合計	284 億 2,177 万円	40 億 4,786 万円	280 億 8,887 万円

水道事業会計

水道利用者の使用料金が主な財源の事業会計です。1億8,357万円の純損失となる見込みで、この損失は、利益積立金などで補てんします。

建設改良事業の収入額が支出額に不足する額10億1,107万円は、損益勘定留保資金などで補てんします。

収益的収支

収益	20億1,406万円
費用	21億9,763万円
差引純損失	1 億8,357万円

建設改良事業

収入	3 億4,102万円
補填財源	10億1,107万円
支出	13億5,209万円

財産

資産		負債および資本	
固定資産	228億8,422万円	資本金ほか	171億6,681万円
		企業債	59億3,475万円
流動資産	39億1,563万円	引当金ほか	36億9,829万円
合計	267億9,985万円	合計	267億9,985万円

下水道事業会計

下水道利用者の使用料金や受益者負担金、受益者分担金が主な財源の事業会計です。差引純利益は、借入金の返済に充てる予定です。

建設改良事業の収入額が支出額に不足する額7億7,646万円は、損益勘定留保資金などで補てんします。

収益的収支

収益	31億6,091万円
費用	28億504万円
差引純利益	3 億5,587万円

建設改良事業

収入※	13億3,322万円
補填財源	7 億7,646万円
支出	21億968万円

※翌年度繰越額に係る財源充当額を除いた額

財産

資産		負債および資本	
固定資産	322億4,357万円	資本金ほか	63億1,065万円
		企業債	102億8,449万円
流動資産	13億1,978万円	引当金ほか	169億6,821万円
合計	335億6,335万円	合計	335億6,335万円

農業集落排水事業会計

農業集落排水利用者の使用料金や受益者分担金が主な財源の事業会計です。差引純利益は、借入金の返済に充てる予定です。

建設改良事業の収入額が支出額に不足する額4,833万円は、損益勘定留保資金などで補てんします。

収益的収支

収益	2 億2,403万円
費用	2 億1,499万円
差引純利益	904万円

建設改良事業

収入	6,380万円
補填財源	4,833万円
支出	1 億1,213万円

財産

資産		負債および資本	
固定資産	26億7,521万円	資本金ほか	8 億6,575万円
		企業債	5 億991万円
流動資産	5,005万円	引当金ほか	13億4,960万円
合計	27億2,526万円	合計	27億2,526万円

財産と市債

市が所有する財産と市債に関する現在高の状況です。なお、水道・下水道・農業集落排水事業会計を除きます。（令和7年3月31日現在）

財産

土地(山林を含む)	10,595,865㎡
建物	696,778㎡
有価証券	4,794 万円
基 財政調整基金※	45 億 706 万円
金 その他の基金	116 億 2,947 万円

※計画的な財政運営を行うための貯金

市債

一般会計	412億2,083万円
うち臨時財政対策債※	149億3,624万円
その他	262億8,459万円
一時借入金	0 円
合計	412億2,083万円

※収支の不足を補てんするため特例発行する地方債